

めぐみだよりNo.2



ひよこ組

日差しがまぶしく、夏本番を迎えました。4月にはドキドキしていた子どもたちも、今ではすっかり園生活に慣れ、安心した表情やにこやかな会話が日々見られるようになってきました。1学期は、季節ならではの開放感を感じながら、絵の具や水、感触遊びなどを通して、のびのびと遊びを楽しむ姿がたくさん見られました。絵の具遊びでは、手型・足型を使ってダイナミックに「海」を表現しながら、「冷たい!」「気持ちいい〜!」と笑顔いっぱいになって遊ぶ姿が印象的でした。綿棒、スポンジ、筆、ローラーなど、様々な道具の中から自分で選び、試すことで、「どんな形になるかな?」「これでやってみよう!」と発見を喜び、友だちと感触や変化を共有する姿も見られました。

じゃぶじゃぶ池やプール遊びでは、トイレ→着替え→体操→水遊びという一連の流れを丁寧に伝えながら、自分でできることを一つずつ増やしていけるよう関わってきました。「やってみたい!」「自分でできた!」という気持ちを大切にしながら、子どもたちの主体性や自信が少しずつ芽生えています。

準備体操では、『パンダなりきり体操』の絵本を真似して、バナナ・ゴリラ・飛行機チューリップなどになりきりながら、みんなで動きを楽しみました。

特に、みんなでイモムシになる場面では「だんごみたいにつながろう〜!」と大喜び。一緒に楽しむ中で、仲間とのつながりや一体感が育まれてきたように感じます。

日々の遊びや生活の中で、「一緒にあそぼう!」「〇〇ちゃんの隣に座りたい♡」など自分の思いを言葉にして伝えようとする姿が多く見られるようになってきました。一方で、思い通りにいかず泣いたり怒ったりする場面もありますが、「イヤだった」「〇〇が欲しかった」と、自分の気持ちに気づき、少しずつ言葉で伝えようとする力が育ってきています。保育者が仲介しながら相手の思いにも耳を傾け、子どもたちなりの解決方法を一緒に考えていく時間も大切にしています。

この1学期、子どもたちはたくさんの経験を通して、「友だちといると楽しい」「自分の思いを伝えるって大切」という、集団生活の土台となる力を育んできました。

まだまだ小さなトラブルや戸惑いもありますが、それも一つひとつが大事な学びの機会。これからも子どもたちの気持ちやつぶやきを丁寧に受けとめながら、安心して過ごせる環境を作っていきたいと思います。

～夏休みに向けて～

夏休み中も、早寝早起きや食事・排泄・着替えなど、基本的な生活習慣を丁寧に続けることが自立への第一歩となります。ご家庭でも「自分でやってみよう」とする気持ちを温かく見守り、声をかけながら応援していただけると嬉しいです。親子の時間を大切にしながら、夏ならではの遊びや経験が増えたと良いと思います。

心も体もぐんと育つ夏になりますように☆彡

